

福祉サービス第三者評価 評価結果

つづきルーテル保育園

〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 2-18

運営主体：社会福祉法人 イクスス会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4 ページ
分類別評価結果	5～13 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	14～21 ページ
利用者本人調査分析	22～23 ページ
事業者意見	24 ページ

2007年5月17日 公表

評価機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	社会福祉法人 イクスス会 つづきルーテル保育園		
報告書作成日	2007年5月6日	評価に要した期間	約6ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:06年11月中旬～12月27日</p>	<p>法人全職員の研修で説明があり、事前に読み合わせを行い、グループに分かれてシミュレーションを交えて検討した。</p> <p>その後、自園に戻り、常勤職員が自宅に持ち帰って、個別に記入した。</p> <p>職員が個別に記入した自己評価票を、クラスごとにクラスリーダーが一つにまとめ、それをもとに園長と全クラスリーダーで意見交換しながら一項目ずつ確認し、評価をまとめた。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:06年12月1日～12月27日</p>	<p>全利用者（園児）の保護者（117家族）へ事業者から手渡し。</p> <p>各保護者より、同封の返送用封筒にて、評価機関宛に無記名で返送。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 07年2月28日 第2日 07年3月2日</p>	<p>第1日午前中は、各クラスの保育観察や5歳児の聞き取り調査。昼食は3・4・5歳児と一緒に保育室でいただいた。午後は書類調査と保育観察、および看護師、栄養士に面接調査を行ない、その後、園長・主任に面接調査を実施した。</p> <p>第2日午前中は、各クラスの保育観察と5歳児の聞き取り調査、書類調査。昼食は前日と同じく、3・4・5歳児と一緒に保育室でいただいた。午後は引き続き書類調査と保育観察および各クラス・グループのリーダーとの面接調査を行い、最後に園長・主任に面接調査と意見交換を実施した。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 07年2月28日 第2日 07年3月2日</p>	<p>観察調査は、園内および戸外（園庭・公園・散歩に同行）にて実施。</p> <p>聞き取り調査は、5歳児以上を中心に、保育中および食事に実施。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

つづきルーテル保育園は、2000年（平成12年）4月1日に開園して、6年目を迎えました。運営法人は社会福祉法人イクソス会です。姉妹園として、大船ルーテル保育園（本園）と分園、とつかルーテル保育園があります。法人としての基本方針に基づいて、キリスト教保育を基本として、モンテッソーリ教育を保育の柱に取り入れ、実践を重ねています。定員は0～5歳児の120名ですが、現在の園児数は139名、職員数は常勤・非常勤を含む35名となっています。

当園は、川崎市宮前区に隣接している都筑区の新興住宅街の中に位置し、隣には都筑小学校があります。計画的な街づくりが行われてきた地域であり、駅を中心に大型商業施設が展開し、道幅の広い道路や石畳調の並木道が整備されています。地下鉄「センター北駅」から園までは、歩行者専用道路を歩いて10分かかる距離です。近隣には、身近な遊び場として、牛久保西公園など多数の公園があります。また公園同士を結ぶ“くさぶえのみち”という小川に沿った自然豊かな散策路があり、自動車道からも隔離され、格好のお散歩コースとなっています。

2階建ての園舎は、木をふんだんに使い、全保育室が南側の園庭に向かって建てられ、ゆったりとした、開放的で暖かみのある落ち着いた建物となっています。

高く評価できる点

1、規律正しく、かつ伸び伸びと育ちゆく子どもたち

子どもたちは広い空間の中で、ゆったりと過ごし、規則正しい生活環境の中で、神様の愛を学び、思いやりと実行力を育てています。

子どもたちは、集中力があり、しっかりと人の話を聞くことができ、決まり事を良く守っています。また、それぞれが自信を持って、自由にのびのびと活動しています。

豊富なモンテッソーリの教具の中から、自ら関心のあるものを選び、必要に応じて保育士の支援を受けながら、主体的に取り組んでいます。

週1回のスポーツクラブのインストラクターによる体操の時間には、思い切り身体を動かしています。健康な身体作りとともに、ルールや友だちとの関係作りも自然と身につけているようです。

注：モンテッソーリ教育について（ルーテル保育園・手引書より抜粋）

モンテッソーリ教育とは、1870年、イタリアのマリア・モンテッソーリ（医学博士、哲学博士）が、障がいのある子どもの教育を試行として実践したところから生まれました。この教育は従来の一斉保育とは異なり、保育士主導型の保育ではなく、主として園児の個別指導のかたちをとります。

具体的には、感覚教育、日常生活訓練、言語、数、生物、地理、音楽といった、カリキュラムに従って、保育室に備えられた各種の教具を園児が自由に選択して、その教具に触れることを通して、幼児の成長を促すものです。

保育士はアドバイザーとして常に幼児の近くに位置し、適切な助言と提供のために備え、また幼児の関心が教具に惹きつけられるようにと、部屋の環境づくりに配慮しています。

2、チームワークのとれた職員体制

開園から6年が経ち、本園から異動してきた中堅職員が中核になって、チームワークの良い職員体制ができあがっています。保育士は、保育士資格だけでなく幼稚園教諭の資格も持っています。

毎朝のミーティングは、職員礼拝と呼ばれ、連絡事項だけでなく、聖書を読み、基本理念に沿って、日々の保育に対する心構えを確認し合います。

保育士は常に穏やかな立ち振る舞いで、子どもの育ちを見守り、支援を求めてきたときには適切な対応ができるように心がけています。職員ミーティングでは、子ども一人ひとりの成長の状況を共有し、保育方針について丁寧に話し合っています。

特に障がい児保育において、一人ひとりの違いを認め、クラス担当の保育士だけでなく、全職員が関わり、子どもの力が育つ環境作りに取り組み、成果がでています。

また、外部の支援を取り入れ、子どもたちに多くの体験の場を提供するため、アフリカ太鼓のワークショップ、プロを招いての詩の朗読など、新しい取り組みも積極的に行っています。

改善や工夫が望まれる点

1、地域ニーズに応じた子育て支援事業の更なる推進を

現在、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。その中で、保育園には、地域における子育て支援の役割が求められています。

当園は、開設以来6年を経て、独自の保育方針は保護者にも理解され、定着してきています。今後は、保育の実践と専門的知識を活かし、地域の保育園としての役割を果たす事が期待されます。

そのために、園としてどのようなサービスが提供できるか、地域子育て支援室の活用方法など、職員間で定期的に検討することが望めます。

今後、地域の関係する団体との交流・連携などにより、地域の子育て支援ニーズを把握し、広報の仕方を見直すなど、子育て支援サービスの更なる推進が望めます。

2、保護者とのより一層の連携（相互理解）を

保護者アンケートの自由記入欄には、園に対する保護者の積極的関心がうかがわれます。特にモンテッソーリ教育に関する賛同の声は多く、「生活」「遊び」に関する項目への積極的な賛成意見、感謝の言葉などには、具体的な記述が多く見られます。

現在は、保護者組織がなく、園とのコミュニケーションは、専ら行事や懇談会などへの参加にとどまっています。独自の保育理念を持つ保育園と保護者とがより一層連携を深め、園生活と家庭生活が一体となって、子どもの成長を見守ることは、子どもたちにとって何より良い環境作りになると考えます。より一層の保護者との相互理解を進める取り組みが望まれます。

当機関では、障害を「障がい」と表記しています。

1、人権の尊重

- ◇ 保育の基本方針「整えられた環境において、子どもの情緒的発達を助ける。キリスト教保育とモンテッソーリ教育によって、園児に質の高い生活支援をする。」に基づき、子どもたちは一人ひとり大事にされ、のびのびと園生活を送っています。
- ◇ 守秘義務の意義や目的は職員心得に明記され、勉強会で取り上げています。個人情報の取り扱いについても全職員で確認しあっています。
- ◇ 虐待の定義が全職員に周知されており、虐待が明白になった場合や疑わしい場合にも、関係機関との連携が取れる体制になっています。

2、意向の尊重と自立生活支援への支援に向けたサービスの提供

- ◇ 保育理念や基本方針は、子どもの個性を尊重し自主性・主体性を育むものになっています。園では子どもの姿を肯定的にとらえ、子どもの力を信じ温かく見守る姿勢で、子どもが友だちと一緒に育ちあい、自分の思いを表現でき、いきいきと生活できる環境づくりを目標とした保育を行っています。
- ◇ 子どもたちは、日々の散歩を通して地域の人々と交流しています。また、花の日や収穫感謝祭の時に、お世話になっている地域の病院、区役所、消防署、警察署等へ感謝の品を持参して訪問しています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 保育の基本方針に基づき、保育士は子どもをよく観察し、一人ひとりの意見・意思を汲み取り、その中から子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるように指導計画を作成、見直しています。
- ◇ クラスリーダー会議、カリキュラム会議、毎朝のミーティング等を通して、全職員が日々の保育に積極的に関わり、状況に応じて柔軟に対応しています。
- ◇ 第三者委員に直接苦情を申し立てることができるように園の手引書に記載しています。また、玄関に意見箱を設置して書面での要望・苦情の申し入れに備えています。更に、保護者からの要望や意見は、個人面談、懇談会や登園・降園時の話し合い等を通して聞き取るように努めています。
- ◇ 健康・衛生管理マニュアル、安全管理マニュアルを整備して、全職員に周知徹底しています。事故や災害に対する緊急連絡体制も確立されており、避難訓練も定期的にも実施しています。
- ◇ 運営法人イクソス会として、4園共通のマニュアルを整備しています。更に、共通マニュアルを基に園独自のものも作成・整備しています。

4、地域との交流・連携

- ◇ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスとしては一時保育を行っています。今後、地域のニーズに応じた子育て支援サービス提供を一層進めていくために、関係機関や、他施設とも情報の共有化を図り、園としてどのようなサービスが提供できるか、職員間で定期的に検討されることが望まれます。
- ◇ 地域活動への場の提供としては、都筑小学校で開催の自治会行事に対して、駐車場の提供などの協力を行っています。
- ◇ 区福祉保健センター、北部地域療育センター、児童相談所など地域の関係機関とは、連携をとっています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 事業者として守るべき法・規範・倫理等は職員心得に明記し職員に周知徹底を図っています。また、園長は重要な意思決定にあたっては、関係職員・保護者等から情報・意見を集め、説明する仕組みを取り入れています。
- ◇ 保育理念や基本方針等について職員心得に明記し、職員に周知徹底を図っており、職員はその実践に努めています。
- ◇ 園長は区の園長会や法人の4園園長・クラスリーダー会議等への出席を通して、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。

6、職員の資質向上の促進

- ◇ 園の人材育成には特段の努力を行っています。園内研修を実施し、外部研修へ積極的に参加しています。
- ◇ 採用後、保育士は大学等で2年間のモンテッソーリ教員養成コースを受講し、理論と実践を学び、実際の保育の場において更に研鑽を重ねています。
- ◇ 職員は、個人ごとに研修受講簿をつけている他、個々に資質向上に向けた目標を毎年定め、年に1回の理事長面接を通して確認し、評価を受けています。
- ◇ 実習生受け入れの体制が出来ており、受け入れマニュアルも整備しています。実習生には各クラスのリーダーが担当となり、指導を行っています。モンテッソーリ教育の実習も受け入れています。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。









「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある


評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 当園は、キリスト教精神を基に、モンテッソーリ幼児教育を柱として独自の保育をすすめ、0歳から就学前までの一環保育を基本理念としています。 「整えられた環境において、子どもの情緒的発達を助け、園児に質の高い生活支援をするとともに、地域に根ざす保育園として保護者の就労支援」を基本方針にあげています。 当園の保育は、従来の保育士主導の一斉保育とは異なり、主として園児の個別指導の形をとり、幼児の個々の成長を考えています。 職員は、モンテッソーリ教育やキリスト教の保育について、大学のモンテッソーリ教員養成コースやキリスト教の専門誌により学んでいます。さらに、基本理念や基本方針について、職員心得や手引き書を読み、職員研修での相互確認によって理解を深めています。 保育士は子どもをよく観察し、1人ひとりの意見・意思を汲み取り、個別に記録*しています。その記録から子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるように指導計画を作成、見直しをしています。 <ul style="list-style-type: none"> *モンテッソーリ教具に触れた日付と取り組みの様子や保育士との関わり方などの個別記録（以下、「モンテッソーリ記録」） 子どもの社会性・協調性を促すため、3歳から5歳までを異年齢児保育（縦割りクラス）としています。 保育計画は、新興住宅地としての地域性も考慮し、多くの公園に囲まれていることなども考慮に入れた上で、保育の基本方針に沿って作成されています。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 入園前の子どもの発達状況や課題等は、事前に保護者より提出される児童票などの書類、及び入園前に行う保護者・子どもとの面接から把握しています。把握した情報は、入園時面接記録に整理し、保育士間で共有し日々の保育に活かしています。 新入園児の受け入れ時には、子どもの慣れを考慮して、短縮保育（ならし保育）を行っています。 「モンテッソーリ記録」を活用し、子どもの発達や状況に応じて指導計画の作成・評価・見直しを行っています。

<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 12 年に開設された当園は、木をふんだんに使い、ゆったりとした、開放的で暖かみのある落ち着いた建物となっており、子どもたちが快適に過ごせるよう、清潔さ、採光、換気、照明等配慮されています。 ・園舎は、施設衛生管理マニュアルに基づき、きめ細かく維持管理しており、毎月チェックし、結果を記録しています。 ・沐浴設備、シャワーの設備も完備され、マニュアルに従って管理し、日々チェックしています。 ・低年齢児には、小集団保育に適したコーナーが設けられています。 ・各クラスとも、食べる・寝るなどの機能別の空間が確保されています。
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、乳児については個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成しています。 ・個別の保育目標・計画は定期的に（月 1 回を原則）見直すとともに、月毎に保育計画を立て、子どもの発達状況に合わせ柔軟に変更・見直しを行っています。 ・クラス内では、常に一人ひとりの子どもについての話し合いを行っており、重要部分については連絡帳や口頭で保護者に説明しています。 ・子どもや家庭の個別の状況や要望は、それぞれ児童票に記録して、日々の保育に反映しています。
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を要する子どもについては、個別にクラス会議やクラスリーダー会議で話し合い、必要な情報を共有化し、経過は記録しています。 ・環境を整備するとともに、障がいのある子どもに対しては、担当保育士だけでなく園全体で話し合い、落ち着いて過ごせる様に配慮しています。障がいについて、全職員で学習しており、話し合える体制ができています。又、障がい児・者用トイレを設置しています。 ・アレルギー疾患のある子どもには、保護者からかかりつけ医の指示書の提出を受け、代替食を用意しています。また、保護者と連携して、食べられる食材を増やすように努力しています。代替食・除去食の提供においては、できるだけ他の子どもたちと見た目が違わないように工夫しています。 ・国際（英語）の時間があり、外国人講師とのふれあいを通して、文化や生活習慣の違いを子どもたちが理解できるように配慮しています。
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員が任命されており、直接苦情を申し立てることができるように保育園手引書に記載しています。また、玄関に意見箱を設置して書面での要望・苦情の申し入れに備えています。更に、保護者からの要望や意見は、個人面談、懇談会や登園・降園時の話し合い等を通して把握するよう努めています。 ・第三者委員を交えて対応するしくみができており、園単独で解決困難な場合には、外部の権利擁護機関や相談機関との連携がとれるようになっています。 ・過去の苦情・トラブルや要望内容は記録し、園の運営に活かしています。また、法人 4 園のクラスリーダー会議においても紹介し、解決や再発防止の為に情報の共有化を図っています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="161 300 472 338">- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul data-bbox="600 259 1474 1272" style="list-style-type: none">・ 子どもの年齢や発達にふさわしいモンテッソーリの教具やおもちゃなどが、子どもたちが選びやすいように種類毎に棚に揃えてあります。また、棚の配置を工夫し、子どもたちが落ち着いて、活動に取り組むことができるスペースを用意しています。・ 一斉活動としては、英語を使ったゲームなどを取り入れた国際の時間や、音楽リズムの時間などがあり、みんなで一緒に遊ぶ楽しさとルールを守ることを、年齢に応じて体験できるように工夫しています。また、礼拝の時間は、マナーや、人を愛することを、年齢に応じて理解できるように支援しています。・ 園外活動では、水辺の遊歩道や近隣の公園を散歩コースに取り入れ、地域を知り、自然に触れる機会を積極的に設けています。・ 絵画や音楽リズム、国際の時間に、子どもの年齢や発達状況に合わせた制作や英会話、身体を使った表現等が自由できるように配慮しています。・ 3歳から5歳までは異年齢児保育（縦割りクラス）とし、年長児が年少児に気遣いを示したり、年少児が年長児を見て学ぶような場面が日常的に見られます。また、園庭では、乳児と幼児の交流もあり、一緒に遊んだり、大きい子が小さい子の世話をしたりしています。・ 週1回「体操の時間」を設けて外部のインストラクターの指導を受け、子どもたちが発達段階に応じて運動能力を高められるように配慮しています。また、インストラクターによる「子どもの身体の発達とケガについて」の講演会を開催し、多くの保護者の参加があり、子どもの健康についての理解を促しています。

- 1 保育内容[生活]



- ・ 食育に力を入れ、子どもが食材に触れる機会や自分で調理する機会を設けています。旬の食材や初めて登場する食材は、食事の前に栄養士が素材を見せ、産地を紹介するなど、子どもたちが食事およびその過程に関心を持つように工夫しています。また、モンテッソーリ活動の中にも、ごますりや、キュウリを切る、お茶を入れてお友達にサービスするなどの日常生活の練習が取り入れられています。
- ・ ひなまつりには内裏びなを、節分には鬼を型どるなど、季節感のある献立や盛りつけで、食欲を促すよう配慮しています。
- ・ 残食を調査記録し、結果により食材の使い方を工夫したり、残食の多かったものは食育に取り上げ、子どもの興味を促すなど、献立・調理に工夫をしています。
- ・ 毎月発行の「給食だより」で、子どもに人気のある給食レシピを紹介したり、珍しい食材の調理法や三大栄養素の話、食育の取り組みなどの情報を提供したりと、園で提供する食事に対する保護者の関心を促しています。
- ・ 午睡は一斉活動とせず、眠くない子には静かに過ごさせるなど柔軟な対応をし、年長児は午睡の無い日を設定しています。
- ・ 排泄は一人ひとりのリズムにあわせ、個人差を尊重しています。おむつは布おむつを使用し、場面場面で声かけして確認しています。トイレトレーニングは保護者との連携を密にして個別にすすめています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [健康管理]



- ・ 健康管理マニュアルに従って、子ども一人ひとりの健康状態について、保護者からの情報を把握しています。園での子どもの健康状態は、連絡帳に記載し、必要があれば、お迎えの時に直接伝えていきます。
- ・ 健康診断・歯科健診の結果は、保護者に伝え、降園後の対応について相談しています。
- ・ 登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応について、「感染症対策衛生管理マニュアル」に記載され、保護者には「手引き」に記載し周知しています。また、保育中に発症した時は、保護者への連絡を速やかにし、対応については、保護者の事情も考慮しています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [衛生管理]



- ・ 衛生管理のマニュアルは毎年見直し、年2回の研修で全職員に周知されています。
- ・ 清掃は、保育室内は担任が行い、園舎の外回りは清掃担当者を決めて行っており、清潔・適切な状態が保たれています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [安全管理]



- ・ 事故や災害時の通報や連絡体制の予行演習、地域の避難場所への誘導などの訓練を定期的実施し、子どもたちの避難訓練は毎月行っています。また、緊急連絡体制が確立され、各保育室の電話横に掲示されています。
- ・ 消防署が開催する、小児・乳児の心肺蘇生法の講習会には全職員が参加し、身につけています。
- ・ 子どものけがについては、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告し、受診したものについては、「ケガ日誌」に記録されています。
- ・ 不審者の侵入防止策として、防犯カメラを取り付け事務室で管理を行い、登園・降園の時間を除いては、各入口を施錠する他、警備会社と防犯システムの契約をし、不審者等に対する緊急通報体制が確立されています。

- 3 人権の尊重





- ・ 子どもに対して、威圧的な言葉遣いをしないように、職員心得に記載され、職員ミーティングの中の礼拝でも常に自分の行いを振り返るなど、職員間で相互に確認しあう体制があります。保育士は、子どもをせかしたり強制したりせず、見守る姿勢で、こどもの成長を支援しています。
- ・ 棚で区切るなど工夫して、友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる場所をつくっています。
- ・ 個人情報の取り扱いについて、「職員心得」に具体的な注意事項を記載するなど、全職員に周知しています。
- ・ 虐待が疑わしい場合には、関係機関に相談できるように連携がとられており、家庭支援の必要な保護者に対しては、話を聞いたり、様子を観察し必要な援助をし、虐待の予防に配慮する体制があります。

- 4 保護者との交流・連携






- ・ 在園児は年度末に、新入園児には入園前に、それぞれ保護者に対して説明会を開き、保育方針を説明する機会を設けています。
- ・ クラス全体の様子を伝えるクラス懇談会は、保護者が参加しやすいように日曜日に開催し、年2回行っています。
- ・ 保護者から相談の希望があった場合には、クラス担任が対応し、園長やクラスリーダーから助言・支援が受けられる体制になっています。また、相談は記録し、必要に応じて継続的にフォローを行っています。
- ・ クラス毎の「月の保育」と、大船ルーテル教会発行の「月報」を毎月配布し、保護者に保育の様子を伝えています。また、各クラスの掲示板に、その日の保育の様子や情報を提示しています。
- ・ 年度初めに年間行事予定を配布し、保護者が休暇等の予定を立てやすいように配慮しています。また、保育参観は年に1回一斉に行いますが、その他に希望があれば、随時受け入れ、懇談会等に参加できなかった保護者へのフォローを行っています。
- ・ 保護者会はありませんが、卒園前に5歳児クラスの保護者有志が連絡しあい、保育士への謝恩会を開催しています。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子育て支援ニーズの把握については、園で開催するバザー（7月）、運動会（10月）やクリスマス・キャンドル礼拝（12月）において来園する人々を通して、情報を得ています。 ・ 地域の子育て支援ニーズに関する情報は、都筑区主催の園長会議（年4回ほど開催）などを通して把握しています。 ・ 地域の子育て支援サービスとして、「一時保育」を行っています。 ・ 今後、地域のニーズに応じた子育て支援サービス提供を一層進めていくために、関係機関や、他施設とも情報の共有化を図り、園としてどのようなサービスが提供できるか、職員間で定期的に検討されることが望まれます。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に対する情報提供としては、限られた提供範囲になりますが、大船ルーテル教会発行の「月報」があげられます。記事の中では、教会としての情報提供と共に、当園を含めた4つの保育園の動きや行事を紹介しています。 ・ 保育園の専門性を活かした地域住民への「育児相談」については、まだ実施段階には至っていません。 ・ 保護者等からの相談内容に応じた関係機関・団体との連携は、園長と主任が担当し、既に日常的な連携が来ています。




評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月のバザー、都筑小学校の校庭を借りて開催する秋の運動会、園舎で行う12月のクリスマス・キャンドル礼拝において、多くの地域の方々の参加があり、地域に親しまれている。 ・園児たちは、散歩の中で地域の人々との挨拶等で交流しています。更に、6月の花の日（1年で一番花の豊富なこの季節に、美しい花を通して、感謝を表すキリスト教の行事）や11月の収穫感謝祭には園児たちが、お世話になっている近隣の病院、区役所、消防署、警察署等へ感謝の品を持って訪問しています。 ・園児たちが利用している地域の文化・レクリエーション施設としては、大塚・歳勝土遺跡公園、横浜市歴史博物館などがあります。 ・当園は、開設6年目を迎え、現在、地域の自治会や団体・関係機関との交流に向けて種々努めているところです。今後の活動が望まれます。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の利用者が関心のある、園についての情報は、都筑区の広報誌、及び横浜市のホームページにより、提供しています。 ・2月に行った「お買い物ごっこ」の様子は、ケーブルテレビで放映されました。 ・園の基本方針や利用条件・サービス内容等に関する問い合わせについては、園長が随時対応しています。 ・また、保育に支障をきたさない範囲で、見学の希望にも対応しています。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・実習生の受け入れマニュアルが作成されています。年度初めにボランティア、実習生の担当責任者を定め、受け入れる体制を整備しています。 ・現在までに、多くの中学生・高校生のボランティア及び福祉・保育部門の実習生を受け入れて、その育成に寄与しています。実習の終了時には、それぞれの学校より担当の先生も来園し、実習生と職員との意見交換の場を設けており、気付きや感想を園の運営に反映させるしくみを持っています。 ・当園は、モンテッソーリ教員養成コースにおける「実習園」に指定されており、毎年、実習生を受け入れています。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成については特に力を入れています。園の理念や方針に相応しい職員を採用し、採用後は2年間のモンテッソーリ教員養成コースへの受講を奨励し、支援しています。更に園内における各会議・研修等を通して、人材の育成に努めています。 ・職員の研修体制は確立されており、外部の研修、研究発表会へも積極的に参加し、また、海外研修への参加も行っています。 ・職員は個々に研修受講簿をつけ自己研鑽に励んでおります。年末には1年の振り返りと次年度の資質向上に向けた目標を定めたレポートを作成し、運営法人の理事長面接を通して評価を受け、確実なものにしています。 ・一貫した計画の下に研修が行われていますが、研修計画が明文化された状態にはありません。今後、研修計画の作成や、研修成果の評価・見直しについて検討が望まれます。 ・非常勤職員にも業務マニュアルを配布し、勉強会、クラスリーダーによる業務指導を行っています。また、常勤職員の実務を通しての教育・指導により資質向上を図っています。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員はモンテッソーリ教員養成コースを修了し、実践において保育技術の向上に努めています。また、毎月開催する職員会議、クラスリーダー会議などにおける意見交換・討議、ケーススタディも行うクラス毎の会議を通して、更なる技術の向上を図っています。 ・モンテッソーリ勉強会や聖話勉強会においては、外部より講師を招いて指導を受けています。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のモチベーションの維持向上に関して、経験・能力や習熟度に応じた役割が職員心得に明文化されています。 ・職員は、本人の適性・経験・能力に応じた役割を与えられ、やりがいや満足度を高めています。 ・運営法人の理事長は、年末に提出される振り返りのレポート及びアンケートを丁寧に読み込んで職員一人ひとりと面接を行い、満足度・要望などを把握しています。今後は、園としての取り組みも望まれます。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者として守るべき法・規範・倫理等は、職員心得に明文化されており、会議等において周知徹底されています。 ・外部に対する経営・運営等の情報の公開としては、配布が限られた範囲ではありますが、大船ルーテル教会発行の「月報」を利用して行われています。 ・ゴミの減量化については、ゴミの分別、布オムツの使用など、積極的に取り組んでいます。また、省エネルギーについては、床暖房の採用、空調機の適正使用、牛乳パックのリサイクルによる工作品や遊具への活用など、環境に配慮した取り組みを行っています。 ・また、環境配慮の考え方が、方針や目標の中に明記される段階には至っていません。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の理念や基本方針等について職員心得に明記し、職員に周知徹底を図っており、職員はその実践に努めています。 ・また、園長は、重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集め、説明する体制をとっています。 ・主任クラスの職員は、スーパーバイザーとしての役割を果たせるよう育成されており、会議などを通して職員の業務状況を把握する仕組みとなっています。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は区の園長会議、法人4園の全園長・クラスリーダー会議などを通じて、事業運営に影響のある情報を収集・分析して、外部環境の変化に対応して、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っています。 ・これらは職員会議、クラスリーダー会議等を通して、職員に周知し、園全体の取り組みに反映しています。 ・なお、保育園運営に関しての中長期的な計画や目標は運営法人が所在する大船ルーテル保育園本園において、策定されています。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2006年12月1日～12月27日
- 2、実施方法 事業者から直接利用者家族に配付(手渡し)
同封の返送用封筒にて評価機関宛、無記名で返送。
- 3、回収率 72.6% (117枚配布、85枚回収)
- 4、所属クラス 0歳児14人、1歳児18人、2歳児17人、3歳児14人、4歳児12人、5歳児10人。
ただし同一家族で複数名が在籍の場合には下の園児のクラス。

設問ごとの概要

【問1】保育園の保育目標や保育方針について

82%の保護者が知っています。更に、「知っている」と回答した保護者の96%が「目標や方針に賛同できる」と回答しています。自由記入欄には、キリスト教保育・モンテッソーリ教育に基づいた保育に支持や感謝の記述もあります。 数値82%は、「知っている」「まあ知っている」を合わせたもの。

【問2】入園する時の状況について

全般的には80～90%の満足度です。但し、「費用やきまりについての説明」については78%の満足度、また、「入園時の面接」については、見学をしなかった事などが「その他」回答となり65%の満足度にとどまっています。

数値80～90%は、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせたもの。以下同様。

【問3】年間の計画について

「年間の計画の説明」については、88%が満足していますが、「計画に保護者の要望が活かされているか」については21%が不満と答えています。自由記入欄には、種々の意見・要望が記述されています。特に、年末年始の保育については、保護者の勤務上から強い改善意見が出されています。

数値21%は「不満」「どちらかといえば不満」を合わせたもの。以下同様。

【問4】日常の保育内容について

1.「遊びについて」の5項目はいずれも90%台の高い満足度です。日常の保育に関して、保護者からは大変高い満足度が得られています。特に、「おもちゃや教材」については、99%の満足度になっています。自由記入欄には、モンテッソーリ教育への満足の記述が多く見られます。一方、「もう少し外遊び・散歩を増やして欲しい」との意見も出されています。

2.「生活について」は90%以上の満足度です。「給食」については、ほとんどの保護者が満足されています。「おむつはずし」については該当しない保護者が「その他」とする回答に含まれていますので、満足度は低く出ています。「体調への気配り」や「ケガに関する説明や対応」についても高い満足度です。自由記入欄には、ケガへの対応や、保護者への連絡について感謝の言葉も多くあります。

【問5】快適さや安全対策について

「園舎、園庭などの施設について」、保護者の約95%が満足していますが、「外部からの不審者侵入に対する備えについて」は、約15%の保護者が「不満」と回答しています。「衛生管理や感染症対策について」は、83%の満足度です。

【問6】園と保護者との連携・交流について

7項目に対して、保護者の満足度は79～96%です。“柔軟に対応してくれる”“親切にしている”との記述があります。また、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明」について満足度は79%です。自由記入欄からは、保護者は担任の先生からお子さんの様子を聞きたいとの願いがうかがえます。

【問7】職員の対応について

「お子さんが大切にされているか」「園生活を楽しんでいるか」は、ほぼ100%の満足度です。保護者が安心してお子さんを園に送り出していることがうかがえます。「不満や要望を気軽に言えるか」「不満や要望への対応」についても、80%を超える満足度となっています。

【問8】総合的な評価について

保護者の満足度は、98%です。ほとんどの保護者が満足しています。自主性を尊重した様々な活動を工夫して実行している保育園とされます。“子どもも保育園を楽しんでいます”“現在の穏やかな雰囲気を持ち続けてください”など記述がみられます。同時に、“年未年始の保育について改善してほしい”との意見が数多く出されています。

結果の特徴

「園の保育の目標や方針」には多くの保護者の理解と賛同があります。

「年間の計画」については、年未年始の保育のあり方について多くの保護者から改善の要望が出されています。保護者の就労支援の立場からも検討が望まれます。

「日常の保育内容」について保護者からは大変高い満足度が得られています。モンテッソーリ教育を基礎とする保育が保護者に理解されていると思われます。

「不審者侵入に対する備え」は社会情勢から不断のテーマと考えられます。実施した対策の保護者への説明と共に、更なる安全への取り組みが望まれます。

「保護者との連携や交流」については、全般に高い満足度です。特に、保護者の関心の高い“送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明”についても満足度は高くなっています。

保護者は、保育士や職員と気軽にコミュニケーションを図りたいと願っています。今後とも保護者とのより良い関係作りに努めることが期待されます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

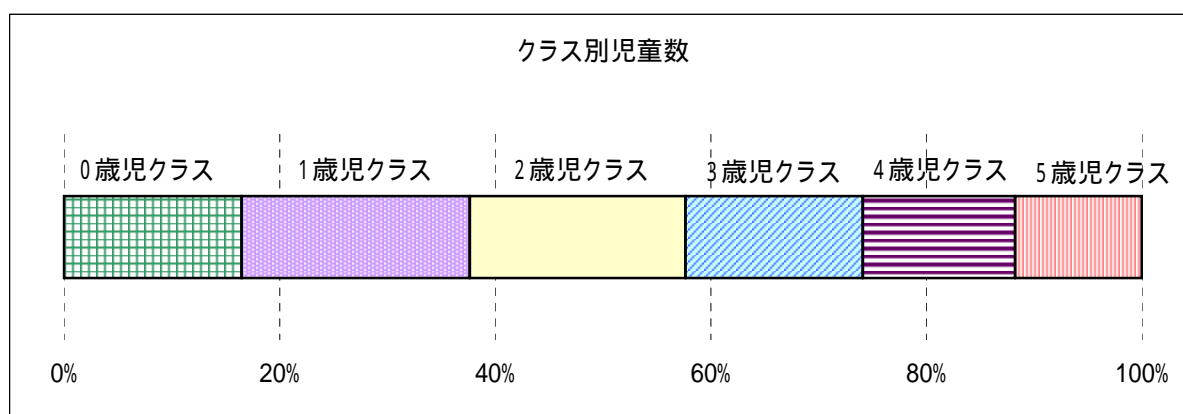
実施期間：2006年 12月1日～27日

回収率：72.6% （回収数 85枚 / 配付総数 117枚）

【属性】

クラス別児童数 複数在籍の場合は、下の子どもで記入

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答	合計
14	18	17	14	12	10	0	85



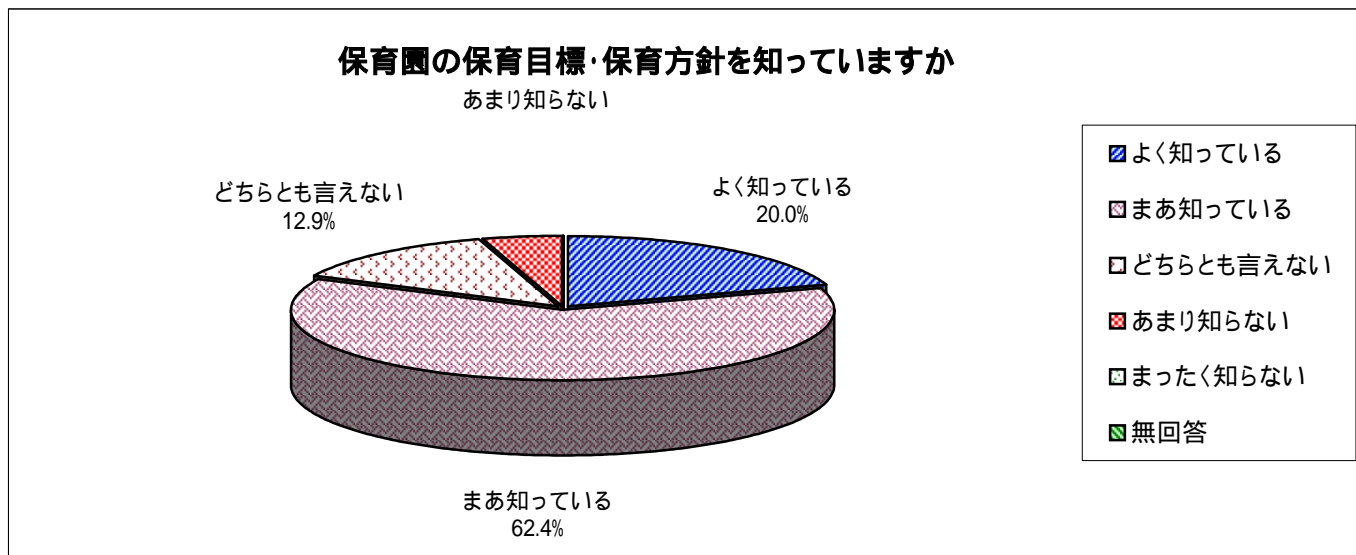
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	20.0	62.4	12.9	4.7	0.0	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

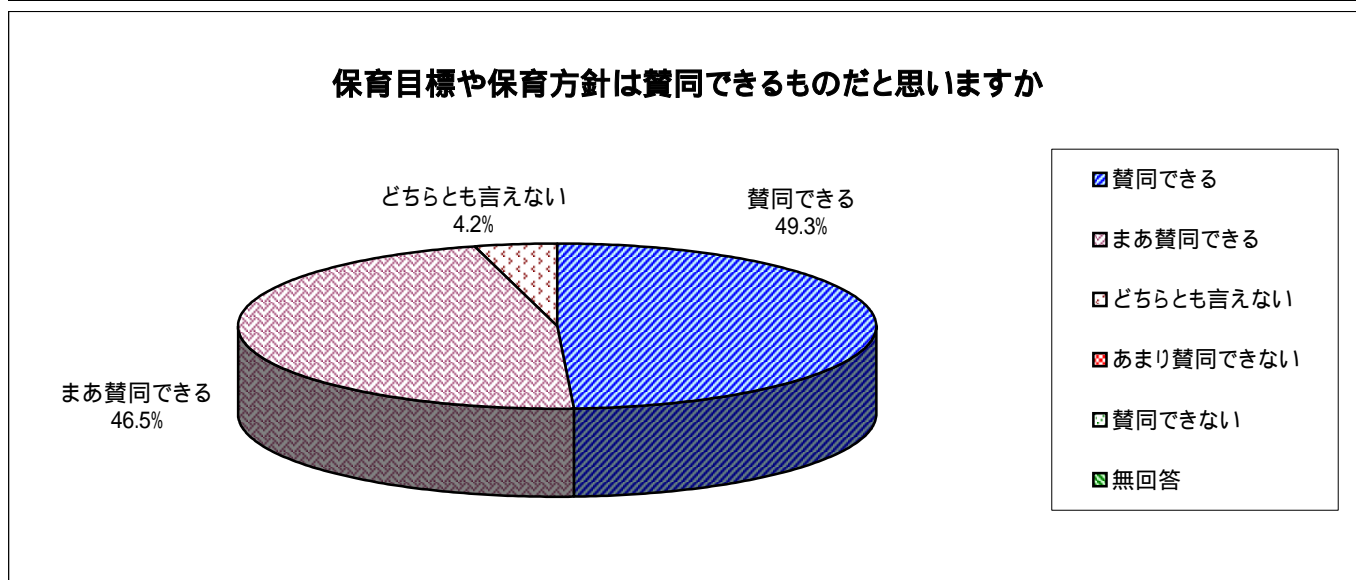


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

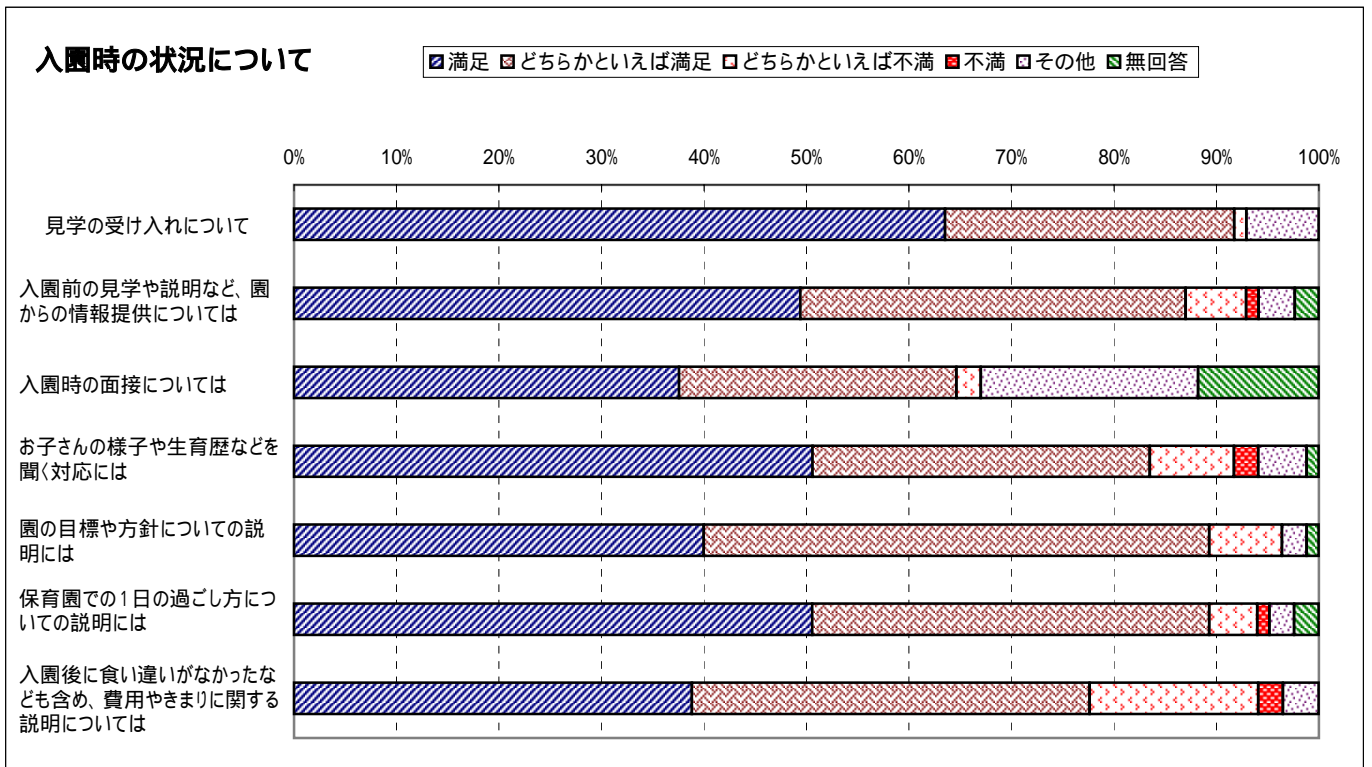
付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	49.3	46.5	4.2	0.0	0.0	0.0	100



保育園のサービス内容について 問2 入園時の状況について

(%)

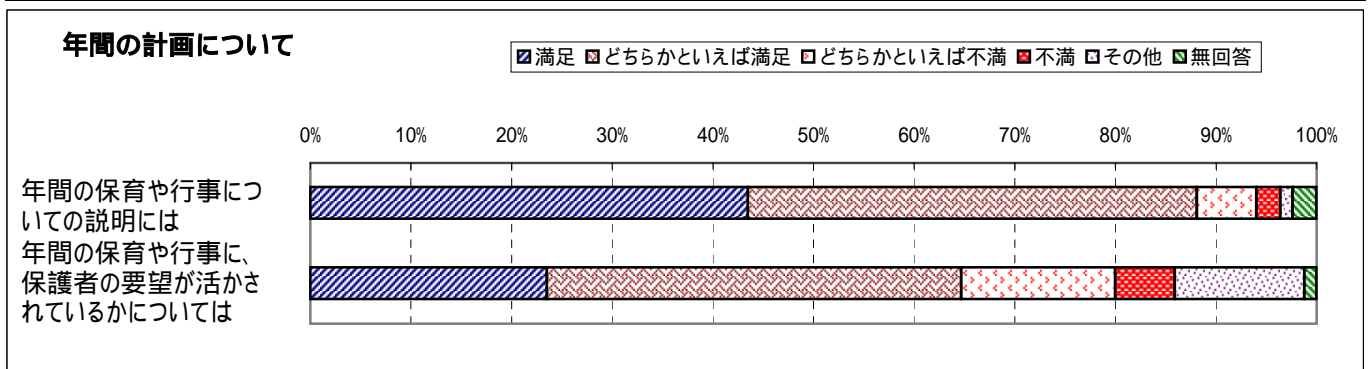
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	63.5	28.2	1.2	0.0	7.1	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	49.4	37.6	5.9	1.2	3.5	2.4	100
入園時の面接については	37.6	27.1	2.4	0.0	21.2	11.8	100
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	50.6	32.9	8.2	2.4	4.7	1.2	100
園の目標や方針についての説明には	40.0	49.4	7.1	0.0	2.4	1.2	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	50.6	38.8	4.7	1.2	2.4	2.4	100
入園後に食い違いがなかったなども含め、費用やきまりに関する説明については	38.8	38.8	16.5	2.4	3.5	0.0	100



問3 年間の計画について

(%)

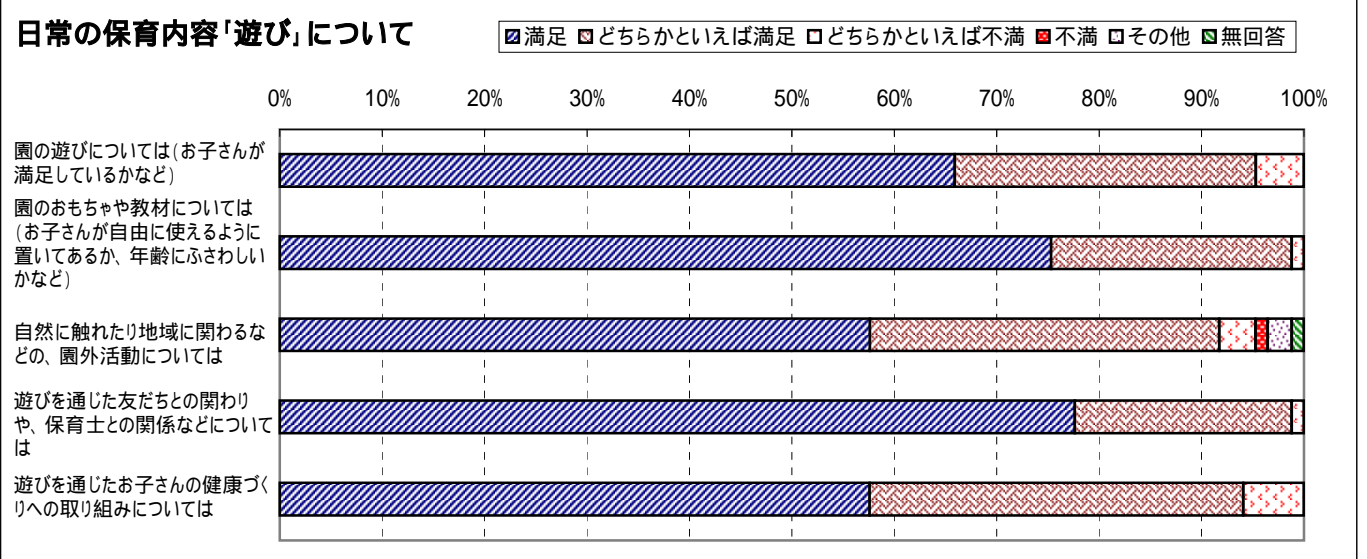
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	43.5	44.7	5.9	2.4	1.2	2.4	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	23.5	41.2	15.3	5.9	12.9	1.2	100



問4 日常の保育内容について

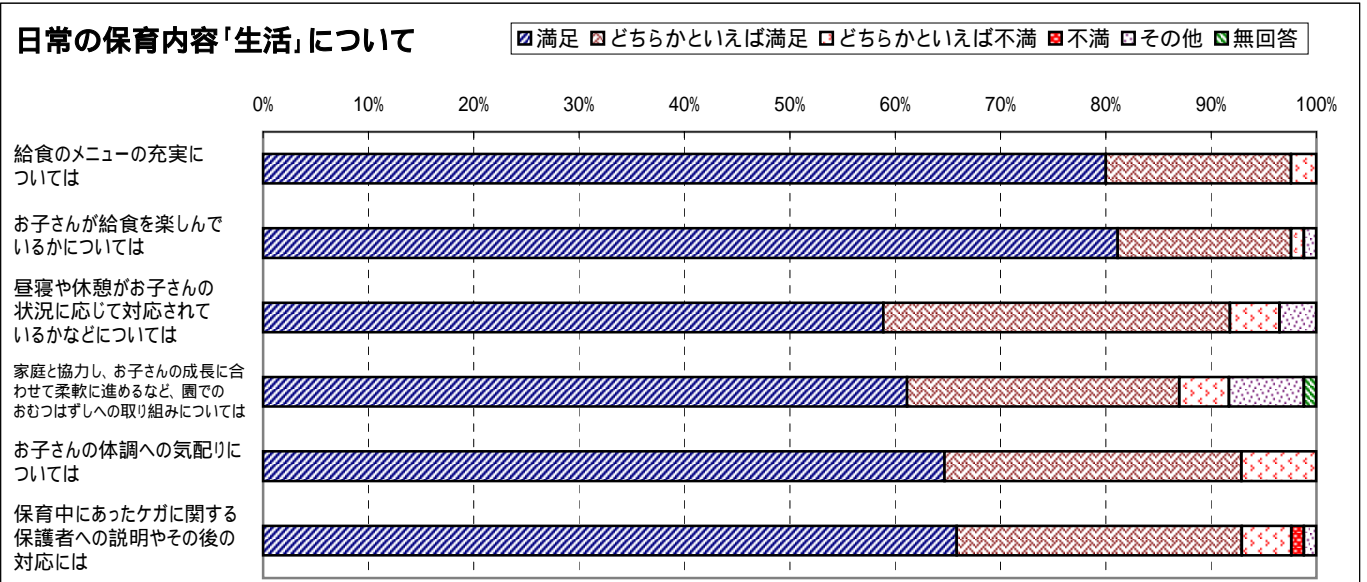
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園の遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	65.9	29.4	4.7	0.0	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	75.3	23.5	1.2	0.0	0.0	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	57.6	34.1	3.5	1.2	2.4	1.2	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	77.7	21.2	1.2	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	57.6	36.5	5.9	0.0	0.0	0.0	100



(%)

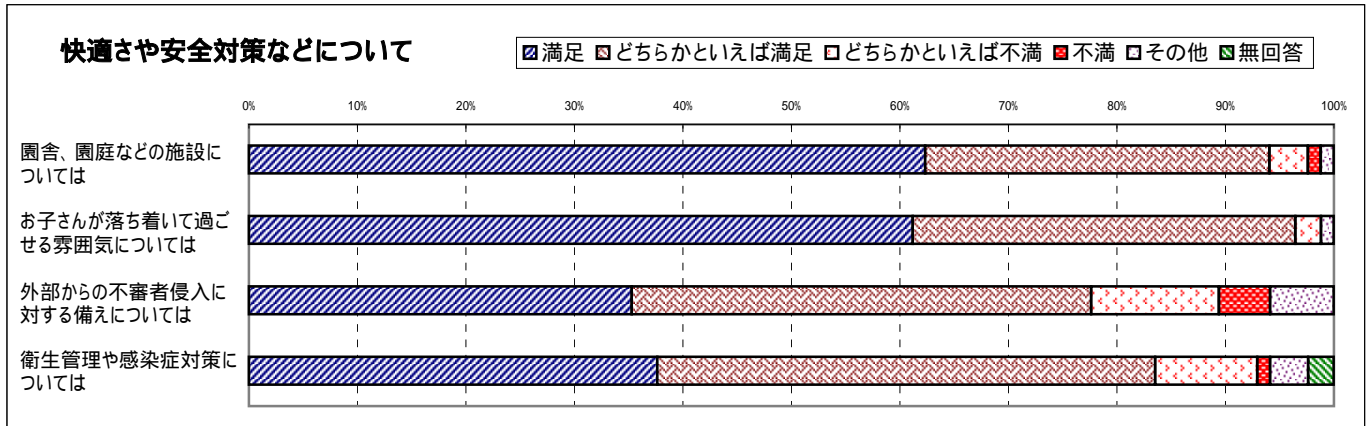
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食のメニューの充実については	80.0	17.6	2.4	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	81.2	16.5	1.2	0.0	1.2	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	58.9	32.9	4.7	0.0	3.5	0.0	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	61.2	25.9	4.7	0.0	7.1	1.2	100
お子さんの体調への気配りについては	64.7	28.2	7.1	0.0	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	65.9	27.1	4.7	1.2	1.2	0.0	100



問5 快適さや安全対策などについて

(%)

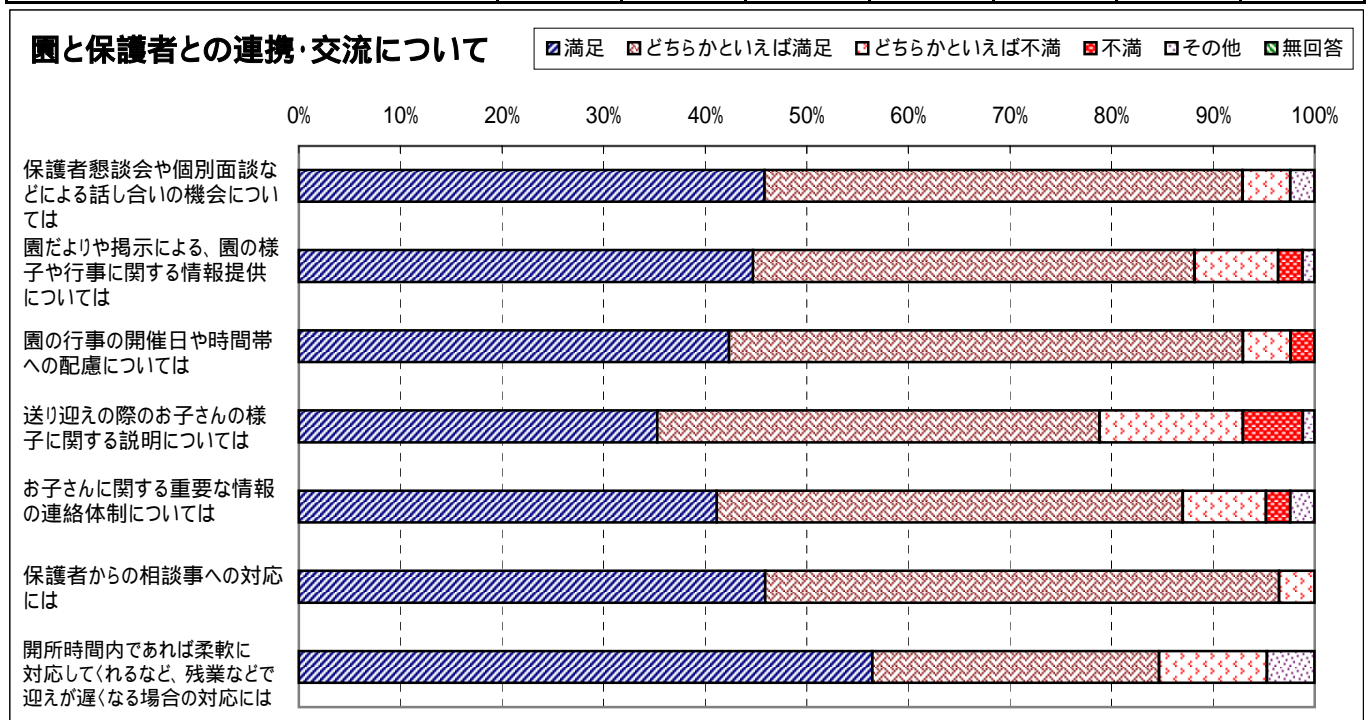
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園舎、園庭などの施設については	62.4	31.8	3.5	1.2	1.2	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	61.2	35.3	2.4	0.0	1.2	0.0	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	35.3	42.4	11.8	4.7	5.9	0.0	100
衛生管理や感染症対策については	37.7	45.9	9.4	1.2	3.5	2.4	100



問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	45.9	47.1	4.7	0.0	2.4	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	44.7	43.5	8.2	2.4	1.2	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	42.4	50.6	4.7	2.4	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	35.3	43.5	14.1	5.9	1.2	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	41.2	45.9	8.2	2.4	2.4	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	45.9	50.6	3.5	0.0	0.0	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	56.5	28.2	10.6	0.0	4.7	0.0	100



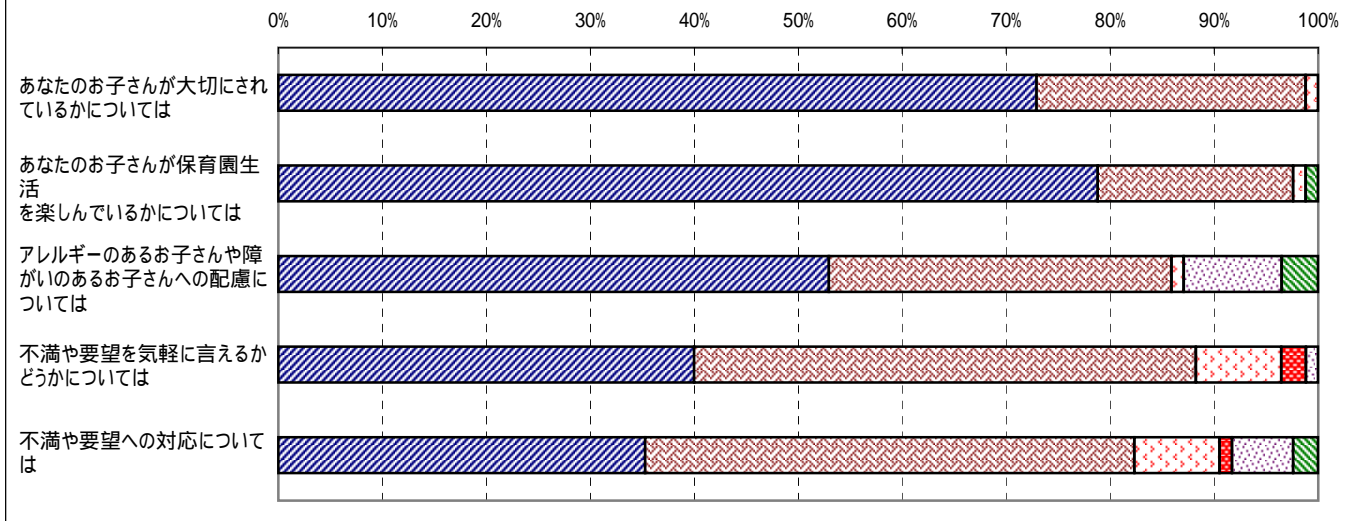
問7 職員の対応について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	72.9	25.9	1.2	0.0	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	78.8	18.8	1.2	0.0	0.0	1.2	100
アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮については	52.9	32.9	1.2	0.0	9.4	3.5	100
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	40.0	48.2	8.2	2.4	1.2	0.0	100
不満や要望への対応については	35.3	47.1	8.2	1.2	5.9	2.4	100

職員の対応について

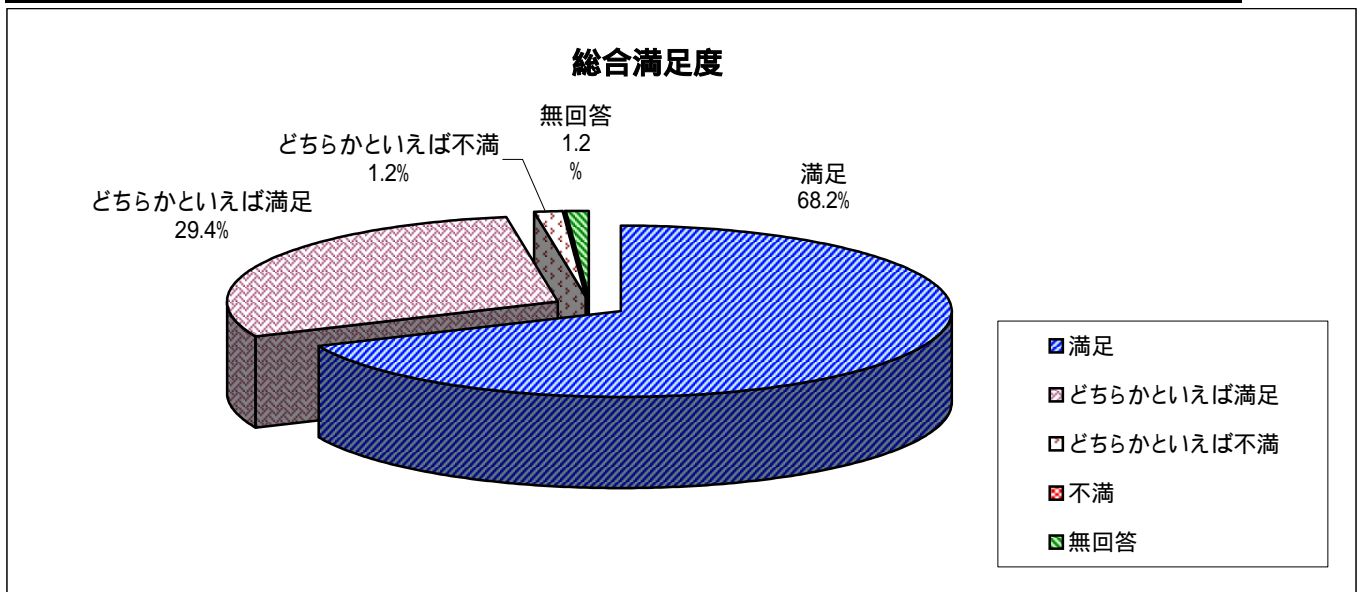
■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	68.2	29.4	1.2	0.0	1.2	100



利用者本人調査 分析

観察調査 第1日：2007年2月28日(水) 、第2日：3月2日(金)

対象：全クラス

観察中、5歳以上の園児を中心に適宜聞き取りを行いました。

訪問調査日は雛まつり間近だったため、ホールには、子どもの作ったお雛様が飾られ、華やかなムードがありました。子どもたちは自分やお友達の作品を嬉しそうに紹介し、作ったときに難しかったところ、特に気に入っているところなどを話してくれました。また、3月2日の給食は、炊き込みご飯のおにぎりで作ったおひな様、おやつに雛あられが出て、子どもたちは大喜びでした。

1. 遊びについて

礼拝・サークル

毎朝行われる礼拝は、ホールを使って、幼児クラスが合同で行なわれます。礼拝は、ピアノ演奏で進行し、当番の子どもが、ローソクに火をともし、お話し、お祈り、神様の言葉と続き、ローソクの火を消して終わります。子どもたちは、お祈りも賛美歌も大きな声で唱和し、大きな口を開けて歌うことができます。また、礼拝の間、静かに正座をして、集中することができます。

乳児クラスには礼拝はなく、サークルと呼ばれる時間に、保育士と一緒に手遊びと歌を歌い、お祈りもします。子どもたちは、先生のお祈りや歌をよく見て、良く聞いて、仕草や歌をまねています。

モンテッソーリ活動

幼児クラスには、モンテッソーリ教具が分類毎に棚に並べられ、いくつかの作業コーナーがあります。子どもたちは好きな場所で、それぞれに興味のある教具（縫い刺しや、アイロン、世界地図のパズル、数字や文字を書く、シールを貼るなど、他にもたくさん用意されています）を選び、落ち着いて、十分に取り組んでいます。モンテッソーリの活動は、「お仕事」と呼ばれ、午前中の時間帯は、比較的余裕のあるプログラムになっており、「お仕事」を続けたくになったら、続けて存分に取り組むことができます。

乳児のクラスにも、自動車やブロックのおもちゃの他に、手作りのモンテッソーリの導入の教具が用意され、どの年齢の子どもも、自分の興味と成長に応じて過ごすことができるように備えてあります。

外遊び

近隣には、整備された遊歩道と、自然を多く残した公園が数多くあり、乳児クラスはほとんど毎日、幼児クラスは週に1~2回、散歩に出かけます。地下鉄が地上に出て電車が見えるポイントは、子どもたちに特に人気の場所です。

遊歩道は、自動車道と隔離され、交通事情は安全で、行き交う人は多くはありませんが、犬の散歩をしている人と挨拶を交わしています。また、公園で、他の保育園と合流することがあり、保育士どうしが声をかけあって、お互いに見守る中、子どもたちは自然と一緒に遊んでいます。

子どもたちは、外遊びが大好きで、園庭を元気いっぱい走り回っています。特に2階保育室からの避難用滑り台、砂場、「木のおうち」と呼ばれる大型遊具などに人気があります。

週1回、スポーツクラブの男性指導員による体操の時間があり、園庭全体を使い、年齢毎の発達に応じた運動を取り入れています。身体ごと受け止めてくれる指導員は、「元気せんせい」と呼ばれ、子どもたちの人気者です。

国際（英語）の時間

カナダ出身の講師による国際（英語）の時間があります。

英語の歌やゲームをたくさん取り入れ、遊びながら身体で英語のコミュニケーションを身につけられるようになっています。動物や果物などの塗り絵のシートを使い、身近なものから英語を覚えていき、耳で聞いた発音を子どもたちは自然に口にしています。

2. 食事について

給食の時間は各クラスとも、保育室で食事をします。

新しく使う食材や旬の素材があるときなどは、給食の前に栄養士が、食育の一環として子どもたちにお話をします。食材を見せたり、日本地図で産地から保育園までの流通経由を示したりすると、子どもたちも、積極的に質問や意見を出します。

幼児クラスは、お当番さんが配膳を手伝い、3色のランチョンマットで、各年齢が均等に着席するように工夫されています。全員が席に着くとお祈りをして、楽しそうにお喋りしながら食事をします。お箸を使う子どもが多いですが、フォークを使っている子どももいます。食べこぼしの始末など、自分のことは自分で行います。

「好きな給食はなに？」と聞くと、「みんな好き」と答え、「野菜が大好き」という声がたくさん出ました。小さな声で「ピーマンが嫌い」という子もいましたが、減らしてもらって、少しだけは食べてみるそうです。

3. 排泄について

布おむつを使っています。0歳児は、1時間おきに布おむつを取り替え、様子を排便表に記入します。歩けるようになり、おむつが濡れていないときは、場所に慣れるようにトイレに誘導しています。

1歳児では、保育士に褒められるのが嬉しくて、自分でおむつをはずしては、何度もトイレに行く子どももいました。

4. 清潔・健康について

床暖房が取り入れられており、乳児クラスの子どもたちは室内では裸足で過ごしています。

乳児クラスの廊下には、ビニール袋が使いやすいように用意され、汚れた物はすぐに入れられるようになっており、午睡の時間に保育士が一人ひとりのロッカーにしまっています。

具合の悪い子どもは、保護者のお迎えがあるまで、事務室の奥にベッドがあり、保育士または園長が様子を見守ります。

5. いやな思いへの対応や権利を守ることについて

乳児クラスの登園時、離れがたい子どもに、保護者がゆっくりと付き合うのを保育士は見守り、納得してから引き渡すため、泣いているような子どもはあまり見受けられませんでした。

おむつ替えで機嫌が変わり泣いてしまった子どもも、保育士がうまく気をそらしたり、抱っこしたりしているうちに、すぐに泣きやみます。幼児クラスでも、けんかやもめ事もありますが、自分たちで話しあったり、周りの子どもが仲裁に入ったりして解決し、あまり、保育士は介入をしていません。

全体に穏やかでけんかも少ないように見え、子ども達に聞くと、けんかしたときは、「話し合って仲直りする」または、「先生に言う」ということでした。

6. 職員について

保育士は、チームワークが良く、担当のクラスの子どもだけでなく、全体で見守り、言葉使いも丁寧に、穏やかに子どもに接しています。子どもたちも、どの保育士にも同じように親しんで接しています。

まとめ

子どもたちは、のびのびと明るく元気です。「遊び」も「お仕事」も、自分たちのものとしている様子でとてもしっかりしています。

実習生受け入れの多い園でもあり、子どもたちは、大人との関わり方に慣れている様子です。評価調査員の私たちに対しても、親しみをもって、構えずに自然に接し、自主的に色々なことを教えてくれました。自分で考え、自分の意見を人に伝えられる子どもたちです。

事業者意見

イクソス会理事長 松川和照

法人の年度計画に基づいた第三者評価の受審は後半の部でしたが、年度途中で園長の交代があったにもかかわらず、職員が力を合わせて、無事に受審出来た事は、感謝であります。また評価調査員の方々には、私共と園児達の日常保育の姿をお見せ出来ました事は、良かったと職員と理解しています。

また、保護者のアンケートを拝見して、私達の日常保育が、方針においても、年間計画においても、深いご理解を頂いている事は、職員の大きな励みになりました。今後も益々研鑽を積んで、より良い実のある保育実践が出来、保護者の方々にお答え出来るならば、つづきルーテル保育園の幸いとすると同時に、就労支援の中での子供の育ちを実りあるものと出来るものと信じています。

ただ私共も改善しなければならない点が見られます。

1. 入園時の状況：毎年末に入園説明会、面接を実施していますが、実際にふたを開けてみますと、入園希望者がほとんど入園せず、説明会に出席しないご家庭が大部分であります。この為に現在は入園希望の方には必ず見学に来ていただく様にしております。
2. 園と保護者の連携・交流：長時間保育の中での送迎の故に、担任職員とは時間的なズレがあり、かと言ってその時間まで残る業務命令も出せず、難しい事です。連絡ノートを用意したのは、それを埋める為でした。また当方がどうしても必要だと判断した時は、残って話し合いを持っています。今後より良い方法が無いか、検討いたします。
3. 年間計画：主に年末年始保育のことが大部分と判断しますが、今年より半日保育ではなく、一日保育に切り替えて参ります。本年度は既に方針を決めています。ご迷惑が最小限になる様に計画して参ります。
また、クラス懇談会を日曜午後に移したのは、保護者会がなくとも、保護者のご意見を少しでも汲み取ろうと意図したものです。
4. 不審者対策：防犯記録カメラはありますが、さらに、門、入口等の防犯システムについて相談の上、早急に対策を立てて参りたいと思います。
5. 地域との連携：なかなか難しい所ですが、地元理事（連合町内会長）とも相談し、良い方法が無いか検討します。
6. 評価報告書を、本年度の夏季職員研修の資料として活用させていただきます。

つづきルーテル保育園 園長 柳澤ナオミ

今回の受審では、色々な「気付き」が出来、私共にはとても有意義なものとなったように感じます。

7年間の日常の生活の中で、見えなくなっていた点や、見ているも踏み出せずにいた点が明らかとなり、今後の改善すべき事、見つめ直す課題がはっきりと具体化した事に感謝しています。

保育士全員で話し合いをし、進めた事により、全員が同じ方向を向くことが出来、今まで以上に一体感を感じられるようになったと思います。

また、保護者の皆さんが、園を信頼しお子様を預けて下さっているのだという事を実感することが出来、嬉しく思っております。

この事は保育をしていく上での励みとなり、もっともっと今以上に保護者の方とのコミュニケーションを強くし、共にお子さんを育てているという喜びを共有して保育に邁進していきたいと思いました。

これが終わりではなく、これからが新たな一歩の踏み出しとなる様、つづきルーテル保育園職員一同、心を合わせて頑張っていきたいと思っております。

まず始めは、地域のニーズに答えられる様な連携をとって行きたいと思っております。

今後ともよろしくお願ひいたします。